（出来形管理関係）

様式 1

平成　　年度　　工事

出 来 形 管 理 図 表

品 質 管 理 図 表

種　目

事業所　　支所　　受注会社名

注）　1. 出来形（品質）管理図表は、本表紙様式により、工種毎に綴るものとする。ただし、小規模工事については、監督職員の承認を得て、全工種分を一括綴りとすることができる。

2. 種目は、基準高、厚さ、幅等と記入する。

様式 2－1

出来形管理図表

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

管理基準値 A		規格値 B		測 定 単 位
＋	－	＋	－	

番号	月 日	測点	設 計 値 C	実 測 値 D	設 計 値 と の 差 E＝D－C	管理基準値との差 F＝|A|－|E|	設計値との差

記入事項

1. 「工種名」は、掘削（基準高（V））、フルーム（厚さ（T））、橋台工（中心線のズレ（e））等と記入する。
2. 「番号」の欄は、施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
3. 「月日」の欄は測定年月日を記入する。
4. 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。
5. Fを算出する|A|値は、E＞0の場合は＋側の値を、E≦0の場合は－側の値を用いる。また、|A|値が＋側か－側の片方、若しくは両方にない場合は、その符号側はF＝|E|とする。

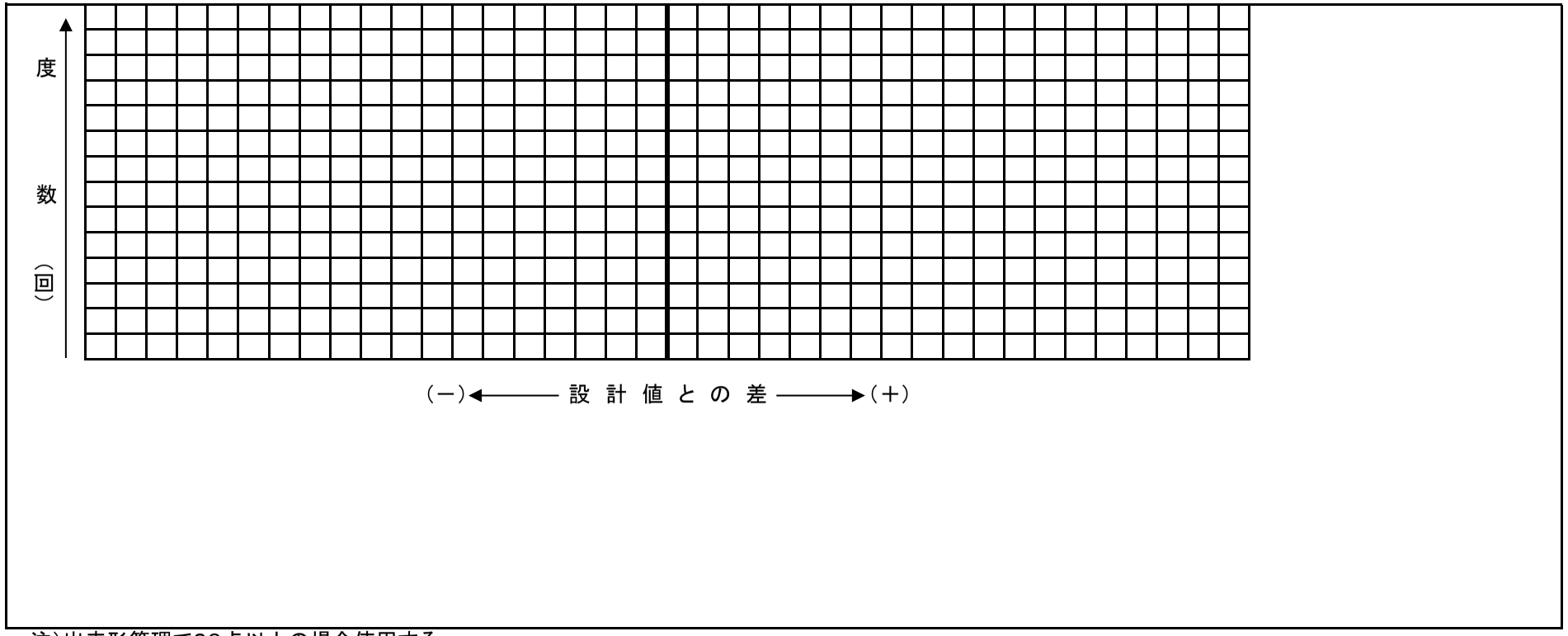
測定箇所図

様式 2－2

度　数　表

工 事 名
工 種 名
平 成　　年　　月　　日 現 在

受注会社名
測　定　者　　印



注）出来形管理で20点以上の場合使用する。

様式 3－1

測定結果一覧表

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
＋	－	＋	－	

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
＋	－	＋	－	

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差 E＝D－C	管理基準値との差 F＝|A|-|E|

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差 E＝D－C	管理基準値との差 F＝|A|-|E|

記入事項

1. 「工種名」は、掘削（基準高（V））、フルーム（厚さ（T））、橋台工（中心線のズレ（e））等と記入する。
2. 「番号」の欄は、施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
3. 「月日」の欄は測定年月日を記入する。
4. Fを算出する|A|値は、E＞0の場合は＋側の値を、E≦0の場合は－側の値を用いる。また、|A|値が＋側か－側の片方、若しくは両方にない場合は、その符号側はF＝|E|とする。

様式 3－2

鋼管溶接測定結果一覧表

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

測定位置	実測値				管理基準値	摘要
	X	Y	X’	Y’		

様式 3－3

鋼管溶接、塗覆装点検表

工事名　　受注会社名

測定者　　印

測定位置	工　種	項　目	判定		摘　要
			良	否	

様式 3－4

管水路ジョイント間隔測定結果一覧表

工事名

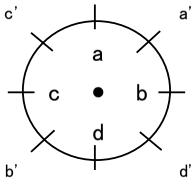
受注会社名

測定者　　印

管種名（呼び径）	測定年月日	測定位置（管番号）	測定値（接合時）					管理基準値	判定	備考	測定年月日	測定値（埋戻後）				（参考）規格値	判定	備考
			a	b	c	d	平均					a	b	c	d			

注
1. 管理基準値は接合時の値であり、4箇所の平均とする。
2. （参考）規格値は埋戻し後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。
3. 測定は、呼び径700mm以下の場合は管の外から測定しても良い。
   また、埋戻し後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は必要ない。
4. 管の外から測定する場合の測定位置は、a'、b'、c'、d'の位置とする。
5. 強化プラスチック複合管のD形の場合は、受口側と挿口側を各々測定すること。

測定箇所



＜記載例＞

測定位置	測定値				
	a	b	c	d	平均
NO.○○受（受口側データ記載）					
〃　挿（挿口側データ記載）					

（参考）
標線による計測　　ジョイント間隔＝受け口長l_2－（標線長h－測定長x_1）
標線によらない計測　　ジョイント間隔＝受け口長l_2－（管有効長L－測定長x_2）

様式 3－5

埋設とう性管たわみ量管理表

工事名　　受注会社名

管種(長さ)　　測定者　　印

測定位置（管番号）	管据付時				管頂埋戻し時				埋戻し完了時				D+t(mm)（内径）（管厚）
	Dυ mm	たわみ率 %	Dh mm	たわみ率 %	Dυ mm	たわみ率 %	Dh mm	たわみ率 %	Dυ mm	たわみ率 %	Dh mm	たわみ率 %	

たわみ率の計算

$$\frac{\Delta X}{2R} \times 100(\%)$$

$\Delta X = [2R-(D\upsilon+t)]$又は$[2R-(Dh+t)]$

2R：管厚中心直径

t：管厚

注）1．マーキング位置における測定値を記入する。

2．測定については「土木工事施工管理基準」別表第1 直接測定による出来形管理　管水路工事　管水路（埋設とう性管）の測定基準による。

3．矢板引抜き時の測定は、「管頂埋戻し時」の欄に測定値を記入する。

様式 3－6

鉄 筋 組 立 検 査 結 果 一 覧 表

工 事 名 ：　　受注会社名 ：

工 種 名 ：

番号	測定年月日	径(mm)及び本数(本)		中 心 間 隔 (mm)				かぶり(mm)			組立状況(継手長、曲げ状況、結束等)	備　考
		設計値	判定	設計値	検査値	設計値との差	判定	設計値	検査値	判定	判　　定	

測定箇所 ：（設計上の位置及び名称）

測　定　者　　印

記入事項

1. かぶりの許容誤差は±φかつ最小かぶり以上とする。
2. 鉄筋間隔の許容誤差は±φとする。
3. 判定欄は合格、不合格を記入する。

様式 4

杭打ち成績表

工 事 名 ：　　受注会社名 ：

工 種 名 ：　　測 定 者　　印

杭打込み 月　日	杭番号	杭規格	測 定 時 杭深度(m)	ハンマー 落下高(cm)	打込回数	リバウンド (cm)	平均沈下 量(cm)	支持力(kN)	摘要

杭配置図

適用公式名：

設計支持力：

（コンクリート関係）

様式 5

セ メ ン ト の 密 度 試 験

（JIS R 5201）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試 験 日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候		
試験日の状態	室 温（ ℃ ）	湿 度（ % ）	水 温（ ℃ ）
試 料			

測 定 番 号	1	2	3	4
① フラスコの番号				
② 初めの鉱油の読み（mℓ）				
③ 試料の質量（g）				
④ 試料と鉱油の読み（mℓ）				
⑤ 密度 $\frac{③}{④ - ②}$				
⑥ 許容差				
⑦ 平均値				

考 察

様式 6－1

セメント粉末度試験（比表面積試験）
（JIS R 5201）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	室 温（℃）	湿 度（％）		
試料				
① セルと水銀との質量 (g)				
② セルの質量 (g)				
③ 水銀の質量 ① － ② (g)				
④（セル）＋（セメント）＋（水銀）の質量 (g)				
⑤（セル）＋（セメント）の質量 (g)				
⑥ 水銀の質量 ④ － ⑤ (g)				
⑦ 水銀の密度 (g/cm³)				
⑧ ペットの体積 $\frac{③ - ⑥}{⑦}$ (cm³)				
⑨ 平均値				
測定番号	1	2	3	4
試料の質量 (g)				
標準試料降下時間 t_0 (s)				
標準試料比表面積 (cm²/g)				
セメント降下時間 t (s)				
セメント比表面積 (cm²/g)				
許容差				
平均値				

考 察

様式 6－2

セメント粉末度試験（網ふるい試験）
（JIS R 5201）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試　験　日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候			
試験日の状態	室　温（ ℃ ）		湿　度（ % ）	
試　　料				
測　定　番　号	1	2	3	4
① 試　料　の　質　量　(g)				
② 残　留　質　量　(g)				
③ 粉　末　度 $\frac{②}{①}$ ×100　(%)				
④ 平　均　値　(%)				

考　察

様式 7

セメントの凝結試験
（JIS R 5201）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候		
試験日の状態	室内の温度（℃）	室内の湿度（％）	水温（℃）
	湿気箱内の温度（℃）	湿気箱内の湿度（％）	
試料			

測定番号	1	2	3	4
試料の質量（g）				
水の量（mℓ）				
注水時刻（h・min）				
始発時刻（h・min）				
始発時間（min）				
終結時刻（h・min）				
終結時間（h）				

考察

様式 8

セメントの安定性試験
（JIS R 5201）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候		
試験日の状態	室温（℃）	湿度（％）	水温（℃）
養生温度(℃)			
試料			

測定番号	1	2	3	4
試料の質量（g）				
水の量（mℓ）				
ひび割れ・反りの有無				

試験結果

考察

様式 9

セメントの強さ試験
（JIS R 5201）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日			平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
試験日の状態	室温 (℃)					
	湿度 (%)					
養生温度 (℃)						
材齢 (日)						
供試体質量(g)（脱型直後）		1				
		2				
		3				
供試体質量(g)（強さ試験直前）		1				
		2				
		3				
曲げ試験	最大荷重(N)	1				
		2				
		3				
	曲げ強さ(N/mm²)	1				
		2				
		3				
	平均値 (N/mm²)					
圧縮試験	最大荷重(N)	1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
	圧縮強さ(N/mm²)	1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
	平均値 (N/mm²)					
供試体作製日 : 平成 年 月 日						

様式 10

細骨材の密度および吸水率試験

（JIS A 1109）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	室 温（℃）	湿 度（％）	水 温（℃）	乾燥温度（℃）
試 料				

測定番号	1	2	3	4
① ピクノメーターの番号				
② 500mℓの目盛りまで水を満たしたピクノメータの質量 m_1 (g)				
③ 試料の質量 m_2 (g)				
④ 試料と水で500mℓの目盛りまで満たしたピクノメーターの質量 m_3 (g)				
⑤ 密度 $\frac{③\times\rho_w}{②+③-④}$ (g/cm³)				
⑥ 平均値				
⑦ 平均値との差				
⑧ 試料の質量 m_4 (g)				
⑨ 試料の乾燥質量 m_5 (g)				
⑩ 吸水率 $\frac{⑧-⑨}{⑨}\times100$ (%)				
⑪ 平均値 (%)				
⑫ 平均値との差 (%)				

考 察

試験温度における水の密度 ρ_w= g/cm³

様式 11

粗骨材の密度および吸水率試験
（JIS A 1110）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	室 温（℃）	湿 度（％）	水 温（℃）	乾燥温度（℃）
試 料				

測定番号	1	2	3	4
① 試料の質量 m_1 (g)				
② 水中のかごと試料の見掛けの質量 m_2 (g)				
③ 水中のかごの見掛けの質量 m_3 (g)				
④ 水中の試料の見掛けの質量 (m_2-m_3) (g)				
⑤ 密度 $\frac{①\times\rho_w}{①-④}$ (g/cm³)				
⑥ 平均値				
⑦ 平均値との差				
⑧ 乾燥後の試料の質量 m_4 (g)				
⑨ 吸水率 $\frac{①-⑧}{⑧}\times 100$ (%)				
⑩ 平均値 (%)				
⑪ 平均値との差 (%)				

考 察

試験温度における水の密度 $\rho w=$ g/cm³

様式 12

細骨材の表面水率試験
（JIS A 1111）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候		
試験日の状態	室温（℃）	湿度（％）	水温（℃）
試料	d_s：試料の表面乾燥密度＝　g/cm³		

測定番号	1	2	3	4
① 試料の質量 m_1 (g)				
② （フラスコ）＋（マークまでの水）の質量 m_2 (g)				
③ （フラスコ）＋（マークまでの水）＋（試料）の質量 m_3 (g)				
④ m＝①＋②－③ (g)				
⑤ $ms = \frac{①}{d_s}$				
⑥ 表面水率 $H = \frac{④-⑤}{①-④} \times 100$ (%)				
⑦ 平均値 (%)				
⑧ 平均値との差 (%)				
⑨ 試料を覆う水量 V_1 (mℓ)				
⑩ （試料）＋（水）の容積 V_2 (mℓ)				
⑪ V＝⑩－⑨ (g)				
⑫ 表面水率＝ $H = \frac{⑪-⑤}{①-⑪} \times 100$ (%)				
⑬ 平均値 (%)				
⑭ 平均値との差 (%)				

考察

様式 13－1

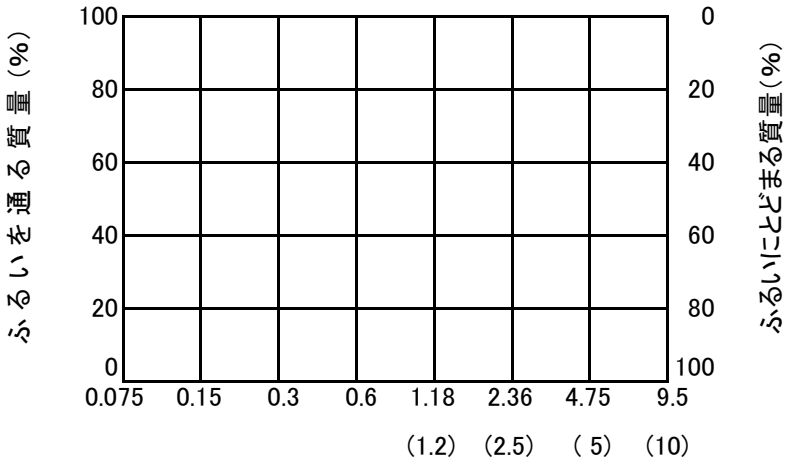
骨材のふるい分け試験（細骨材）
（JIS A 1102）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候	
試験日の状態	室 温（℃）	湿 度（％）
試料		

ふるいの呼び寸法（mm）	各ふるいにとどまる質量の累計		各ふるいにとどまる質量		ふるいを通る質量
	(g)	(%)	(g)	(%)	(%)
9.5（10）					
4.75（5）					
2.36（2.5）					
1.18（1.2）					
0.6					
0.3					
0.15					
0.075					
受 皿					
計					
粗粒率					



ふるいの呼び寸法（mm）、※（ ）は従来の呼び寸法

ふるい分け曲線

考 察

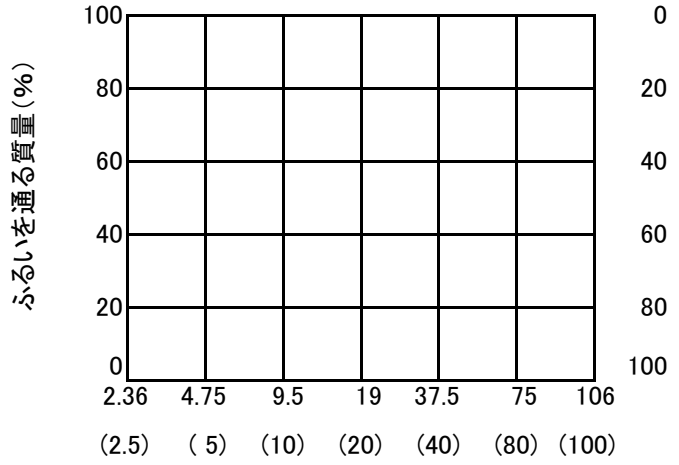
様式 13－2

骨材のふるい分け試験（粗骨材）
（JIS A 1102）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試　験　日	平成　　年　　月　　日　　曜　　天候				
試験日の状態	室　温（ ℃ ）		湿　度（ % ）		
試　　料					
ふるいの呼び寸法（㎜）	各ふるいにとどまる質量の累計		各ふるいにとどまる質量		ふるいを通る質量
	（g）	（%）	（g）	（%）	（%）
最 大 寸 法 （㎜）			粗　粒　率		



ふるいの呼び寸法（㎜）、※（）は従来の呼び寸法

ふるい分け曲線

考　察

様式 14

骨 材 試 験 成 績 一 覧 表

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試料採取地名										
試験日										
ふるい分け	粗骨材	150㎜以上 通過質量百分率 %								
		150 ～ 100 〃								
		100 ～ 80 〃								
		80 ～ 60 〃								
		60 ～ 50 〃								
		50 ～ 40 〃								
		40 ～ 30 〃								
		30 ～ 25 〃								
		25 ～ 20 〃								
		20 ～ 15 〃								
		15 ～ 10 〃								
		10 ～ 5 〃								
		5以下 〃								
		粗粒率								
	細骨材	5㎜以上 通過質量百分率 %								
		5 ～ 2.5 〃								
		2.5 ～ 1.2 〃								
		1.2 ～ 0.6 〃								
		0.6 ～ 0.3 〃								
		0.3 ～ 0.15 〃								
		0.15以下 〃								
		粗粒率								
細骨材	密度									
	単位容積質量（標準） kg/㎥									
	単位容積質量（軽装） kg/㎥									
	安定性 %									
	吸水量 %									
	洗い試験 %									
粗骨材	密度									
	単位容積質量（標準） kg/㎥									
	単位容積質量（軽装） kg/㎥									
	安定性 %									
	吸水量 %									
	すりへり減量 %									
	洗い試験 %									
	軟石量試験 %									
	細長扁平試験 %									
備考										

様式 15

コンクリートのスランプ試験およびフレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験（空気室圧力方式）

（JIS A 1101、JIS A 1128）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候		
試験日の状態	室 温（℃）	湿 度（％）	水 温（℃）

試料												
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量(kg/m³)						
						水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm～mm	粗骨材G mm～mm	混和剤 (g/m³)

測定番号	1	2	3
① スランプ (cm)			
② 突き棒でコンクリートの側面をたたいたときの状態			
③ 見掛けの空気量 (%)			
④ 骨材修正係数 (%)			
⑤ 空気量 ③－④ (%)			
⑥ コンクリートの温度 (℃)			

考 察

様式 16

コンクリートの圧縮強度試験
（JIS A 1108）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候		
試験日の状態	室温（℃）	湿度（％）	水温（℃）
試料			

示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m³) 水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm～mm	粗骨材G mm～mm	混和剤 (g/m³)

材齢（日）				
養生方法			養生温度（℃）	
供試体番号	1	2	3	4
平均直径 (mm)				
断面積 (mm²)				
平均高さ (mm)				
スランプ (cm)				
質量 (kg)				
最大荷重 (N)				
圧縮強度 (N/mm²)				
平均圧縮強度 (N/mm²)				
見掛け密度 (kg/m³)				
平均見掛け密度 (kg/m³)				
供試体の破壊状況のスケッチ				

考察

様式 17

コンクリートの曲げ強度試験
（JIS A 1106）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候		
試験日の状態	室温（℃）	湿度（％）	水温（℃）
試料			

示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m³) 水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm～mm	粗骨材G mm～mm	混和剤 (g/m³)

材齢（日）				
養生方法			養生温度（℃）	
供試体番号	1	2	3	4
平均幅 (mm)				
平均高さ (mm)				
スパン (mm)				
最大荷重 (N)				
曲げ強度 (N/mm²)				
平均曲げ強度 (N/mm²)				
破壊断面とこれに近い支点との距離 (mm)				
供試体の破壊状況のスケッチ				

考察

様式 18

フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験

（JIS A 5308、JIS A 1144）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日							天候					
試料	採取方法												
	保管方法												
示方配合	粗骨材の最大寸法（mm）	スランプの範囲（cm）	空気量の範囲（%）	水セメント比（%）	細骨材率（%）	単位容積質量（kg/m³）							
						水	セメント	細骨材	粗骨材		混和材料		
									～　mm mm	～　mm mm			
測定内容	分析方法												
	測定器名及び指示薬												
測定回数	1		2		3	平均							
塩化物イオン濃度（%）													
塩化物量（kg/m³）						判定基準			測定場所				
						＿＿＿＿＿以下			現場		工場		

様式 19

骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）

（JIS A 5308、JIS A 1145）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日																					
骨材の種類	骨材の産地	繰返し	試料量 (g)	反応時間 (hf)	アルカリ濃度減少量(Rc) (mmol/ℓ)					溶解シリカ量（Sc）(mmol/ℓ)										有害度の判定
										吸光光度法				質量法			原子吸光光度法					
					V_1 (mℓ)	V_2 (mℓ)	V_3 (mℓ)	Rc	平均値	V (mℓ)	C (mg/ℓ)	Sc	平均値	W (g)	Sc	平均値	C (mg/ℓ)	Sc	平均値		
		1																			
		2																			
		3																			
		1																			
		2																			
		3																			
		1																			
		2																			
		3																			
備考																					

様式 20

骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）

（JIS A 5308、JIS A 1146）

工事名　　受注会社名

工種名　　測定者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	気温（℃）	室温（℃）	容器内温度（℃）	容器内湿度（％）
セメント	種別	全アルカリ		
骨材	産地	種別		

区分 ＼ 材齢		脱型時	2週間	4週間	8週間	3ヶ月	6ヶ月
① 基長L（有効ゲージ長）（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
② 供試体脱型時のダイヤルゲージの読み Xini（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
③ 同時測定した標準尺のダイヤルゲージの読み sXini（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
④ 材齢iにおける供試体のダイヤルゲージの読み Xi（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
⑤ 材齢iにおける標準尺のダイヤルゲージの読み sXi（×10^{-3}mm）	1						
	2						
	3						
⑥ 膨張率（％） $\frac{(④-⑤)-(②-③)}{L}\times 100$	1						
	2						
	3						
	平均						
判定							
精度							

考察

様式 21

鉄 筋 の 曲 げ 試 験

（JIS G 3112、JIS Z 2248）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試 験 日	平成　年　月　日　曜　天候			
試験日の状態	気 温（℃）		室 温（℃）	
試 料				
試 料 番 号				
呼 び 径（mm）				
実 測 径（mm）				
種 別				
記 号				
曲 げ 角 度（度）				
内 側 半 径（mm）				
判 定				

考 察

様式 22

鉄 筋 の 引 張 試 験

（JIS G 3112、JIS Z 2241）

工 事 名　　受注会社名

工 種 名　　測 定 者　　印

試験日	平成　年　月　日　曜　天候									
試験日の状態	気温（℃）			室温（℃）						
試料										
試料番号										
呼び径（mm）										
実測径（mm）	最大径									
	最小径									
	平均									
断面積（mm²）										
種別										
記号										
標点距離（mm）										
降伏点荷重（N）										
降伏点（N/mm²）										
引張荷重（N）										
引張強さ（N/mm²）										
伸び	（mm）									
	（%）									
切断位置による記号										
試験片										
判定										

考 察